

「みえ平和行進ニュース」No. 3

08年原水爆禁止世界大会三重県実行委員会

〒514-0016 津市乙部14-18

TEL/FAX 059-228-5854

国民平和行進

県内行進4日目、北勢コースが桑名を出発、四日市へ 南からのコースは伊勢から松阪へ

国民平和行進・南コースは、10日13時、通し行進者の鈴木さん、荒木さんから行進を受け継ぎ、11日自治体訪問、宣伝行動をおこない、大紀町、志摩市、鳥羽市を訪問しました。

鳥羽市では議会中にもかかわらず市長、議長が出迎え、見送りをさせていただきました。志摩市は人権課長らが対応しました。それぞれの自治体でメッセージと協賛金を受け取りました。

この行動には、志摩原水協から4名が参加し、鳥羽は1名が行動の手はずを整えていただきました。

北勢コースが桑名を出発

12日、桑名市役所を出発した北勢コースには、通し行進者の荒木さんを先頭に28名が参加し、四日市市富州原で四日市側に引き継がれました。

桑名市では、市長代理の城田総務部長が対応し、市長のメッセージをいただきました。

水谷・桑名市長のメッセージ

「本日 国民平和行進に参加の皆さん 本当にご苦労様です。 今類共通の願い「平和」しかしその願いとうらはらに 世界にはまだ沢山の核兵器が配備され 平和と生命に脅威を与えております。 本市では 「非核平和都市宣言」を行い 全人類の共存共栄と美しい自然と緑の地球を 核から守ることを願っているところであります。 そうしたなか 昨年8月には 「原爆パネル展」を開催し 戦争の悲惨さと核の怖さ並びに平和の尊さを訴えてまいりました。 人類史上最初の被爆国民として 非核三原則を厳守するとともに平和で美しい地球を次の世代に引き継いでいくことが私たちの責務であります。 皆様方の国民平和行進が実を結び 真の世界の恒久平和が一日も早く到来することを願い 皆様の運動に心から敬意を表します。
平成20年6月12日 桑名市長 水谷 元 」

朝日町では、町長、議長があいさつ

朝日町では、田代町長、飯田議長が対応し、挨拶をいただきました。

また、前日の11日には木曾岬町、東員町、いなべ市、菟野町を訪問し、それぞれ協賛金をいただきました。自治体の協賛金は合計4万円、沿道募金は5,300円でした。